

食食 弁城小「田植え授業」  
食の大切さと感謝を学んだ田植え授業

弁城小の3年生から6年生49人が、食の大切さと感謝の気持ちを学ぶ田植え授業に取り組みました。地域住民の全面協力のもと、約10年以上続く毎年恒例のこの授業。子どもたちは時折、「カエルがいた、足が気持ちいい」などと笑顔ではしゃぎながらも、真剣な眼差しを向け、丁寧に米の苗を植え付けていました。



↑ 田んぼに足を取られて悪戦苦闘しながらも、懸命に田植えた子どもたち。

↓ トークイベントが5月3日に行われ、永末修策さんが来場者約50人に講話。



紡紡 豊前吉右衛門窯展「75年の歩み」  
紡がれてきた窯の歴史と逸品を一挙公開

「豊前吉右衛門窯」の永末吉右衛門さん、修策さん、みづ枝さんによる129作品と、窯の軌跡をたどる展示会「75年の歩み」が、4月8日から6月18日の間、直方谷尾美術館で開かれました。会期中には、昔なじみのファンが多数来館。来場者たちは、窯の変遷と温故知新の作品を、興味深そうに鑑賞していました。

地地 田川地区奨学生決定通知書合同交付式  
地域の応援を胸に将来の夢に向かって

田川地区給付型奨学金事業に採択された奨学生へ決定通知書を交付する「奨学生決定通知書合同交付式」が、6月17日に地域交流センターで行われました。今年度採択された8市町村67人の代表として高橋巧さん(赤池)があいさつ。「奨学金を有意義に活用し、夢に向かって全力で励みたい」と力強く宣誓していました。



↑ 看護師という夢に向かい、県内の学校で日々勉学に励む高橋巧さん(赤池)。

↓ 「悔しさを糧に、次回優勝を目指して練習に励みます」と意気込む「ALEGRIA」。



奮奮 全日本U-12フットサル選手権福岡県大会  
奮闘した「ALEGRIA」県大会でベスト8

福智町を拠点に活動するサッカーチーム「ALEGRIA」(弁城)が、6月17日から始まったクラブユース選手権の県大会に出場しました。ベスト16ではSALTZ FCに5-2で勝利。ベスト8では、今大会優勝チームのMARS福岡と熱戦の末、PK戦で5-4と惜敗しましたが、最後まで諦めない姿が多く観客の心に感動を呼びました。

↓ 帆足和幸さんが後ろからアドバイスしながら試合を実施。5・6年生の試合は、3-5で6年生の勝利。



鷹鷹 上野小「キャッチボールキャラバン」  
鷹戦士OBに学ぶ野球の魅力

ホークスジュニアアカデミー主催の野球教室「キャッチボールキャラバン」が、6月7日に上野小で行われ、3年生から6年生までの42人が参加しました。元・ソフトバンクホークス選手の帆足和幸さんらが講師を務め、ピッチングやバッティングの基礎を優しく指導。最後には、特別ルールによる試合も行われ、子どもたちは野球の面白さを存分に体感していました。

感感 「赤池学園」清掃活動  
感謝と恩返しの想いを胸に地域貢献

赤池学園の利用者58人と職員22人が、6月16日に赤池地区で3年ぶりとなる清掃活動を行いました。参加者たちは、徒歩で移動しながらワイワイ公園や赤池駅などを清掃。地域への感謝と恩返しの想いを胸に、小さなゴミにまで目を光らせて回収するなど、約3kmに及ぶ1時間程度の清掃活動に汗を流しました。



↑ 地域住民とあいさつを交わしながら清掃。赤池駅だけで1袋ものゴミを回収。

↓ 公演終了後に「今日楽しかった人」と問われ、元気に手を上げる園児たち。



笑笑 「ひらばる幼稚園」鑑賞会  
笑いあり涙ありの演劇会3年ぶりに開催

ひらばる幼稚園で6月6日に、3年ぶりとなる演劇会が開かれました。年少から年長までの95人が、劇団バクによる童話「3匹の子豚」を鑑賞。最初は怖がっていた園児たちも徐々に慣れ、オオカミの「子豚は見なかったか」の問いに対し、「うん!見たよ」と素直に答えるなど、園児たちは楽しい時間を過ごしました。